



松風台の防災活動

～地震・火事に備えて その後の10年～

防災会だより 第48号
2016年03月31日
発行責任者
防災会 橋本壽与



目 次

	頁
1.はじめに	-2-
2.多くの方々の協力による様々な活動	
2.1 避難生活時の創意工夫や応急救護訓練	-3-
2.2 消火設備の維持管理	-4-
2.3 地震時家具転倒防止対策の勧め	-6-
2.4 防災用無線機の導入と使い方	-7-
2.5 防災用発電機の実践的利用	-8-
2.6 防災用簡易トイレなどの試行	-9-
2.7 広域避難ゴルフ場へ安全歩行通路の確保	-9-
3.実践的試練による更なる備えの強化	
3.1 東日本大震災 2011.3.11 に遭遇して	-10-
3.2 松風台歴史上初の住宅1戸全焼火災事故の反省	-11-
4.防災活動の体制づくり	
4.1 いつ、どこで、誰が、何をする	-12-
4.2 自治会との連携強化	-12-
4.3 体制づくり経過と今後の体制再構築	-13-
5.防災会の会計業務	-15-
6.自治会との関わり	
6.1 最初の参加	-16-
6.2 要援護者支援制度充実への協力	-16-
6.3 自治会会則・規程類整備への協力	-19-
6.4 松風台自治会ホームページ	-19-
6.5 私企業営利活動の持ち込み	-20-
7.参考までに	
7.1 自治会外部への防災活動講演会	-22-
7.2 サラリーマン退職・無職になって10年	-22-
8.おわりに(編集後記)	-24-

1.はじめに

①発行の主旨

10年前に発行された右記の30周年記念誌を振り返ると
当時の清水武正自治会長/防災会長が

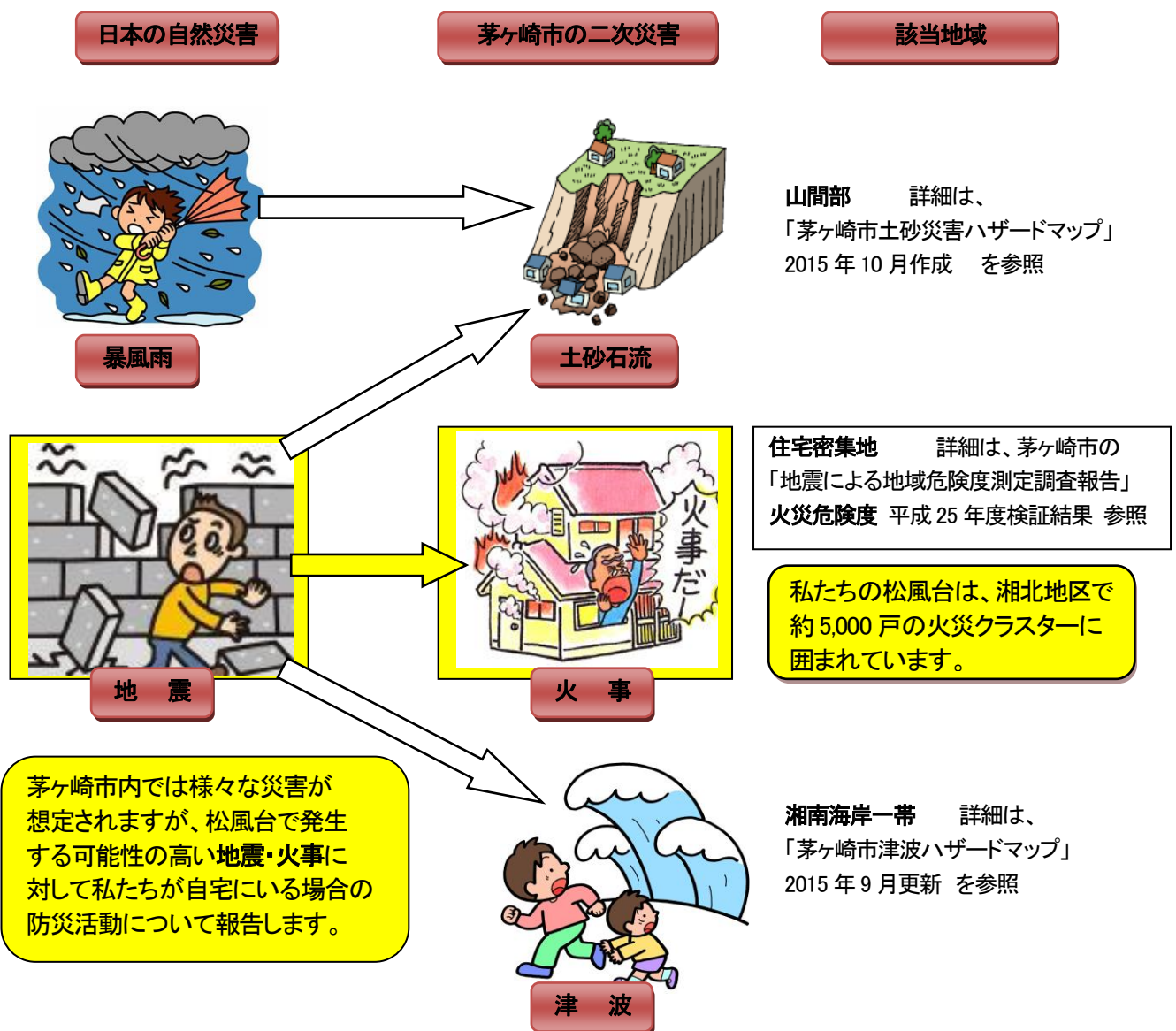
「自分たちの街は自分たちで守る」と投稿されており、

その要点は、

- ・自主防災体制の充実の転機は平成7年(1995年)に発生した阪神淡路大震災の地域住民の活動にあり、
- ・自分たちの街は自分たちで守る為に、防災会組織を再編成し、防災倉庫に消防ポンプなどを整えた。
- ・防災設備は充実できた。自治会では「災害弱者救済規程」も制定し登録者調査も行った。
- ・今後の課題は自治会と連携して運営面を強化し、相互に協力して大災害に備えておく必要がある。

このような重い課題を頂戴した防災会としては、丁度10年経過した節目のこの時期に、その後の活動状況を報告しておかなければならないと思った次第です。

②防災活動の範囲



③報告配布先

松風台自治会では今月「わが街の40年」が発行され 防災活動についても報告されていますが、そこには紙面の都合上 詳細な報告ができませんでした。

10年間活動してきた結果は、防災会で一緒に従事された同志、茅ヶ崎市や松風台自治会の方々から様々なご指導・協力を頂いた賜物です。この報告書は、それらの方々への途中経過も含めた詳細報告とします。

松風台自治会創立30周年記念誌

わが街の30年

昭和50年～平成17年

茅ヶ崎市松風台自治会編

平成18年3月1日発行